

第6学年総合的な学習の時間「布佐学習」活動案

我孫子市立布佐小学校
指導者 中村 眞弓
山崎 智也

1. 単元名 岡田博士のはかせになろう

2. 単元について

3年生からスタートした「ふさカリキュラム」も、この6年生で2つのコンセプトを越える。町の概要に「ふれる」ことから始まり、先人の功績を「知る」ことを経て、中学校での「深める」過程に移っていくのである。その意味で、ここでの活動は、これからの学習への大切な橋渡しとなるものだと考える。

布佐のまちは、縄文の時代から人々が住まう歴史のある土地である。特に江戸時代からは水運で栄え、商業都市として賑わってきた。その中で活躍したのが、気象学の大家、岡田武松博士である。博士は、気象予報の発展に貢献したことで有名だが、布佐においては、地域の子どもたちのために「布佐文庫」を開設し、郷土の発展のために寄与した。そのことで、年配の方々は大変な尊敬の念を込めて「博士」と呼び、誇りにしてきた。その岡田博士の業績と生き方に触れさせることで、児童に、郷土に対する誇りを持たせるとともに、自分の生き方についても考えさせていきたい。

本単元では、まず、3年生の社会科で学習した岡田博士のことについて触れ、年表作りに取り組みさせる。その後、地域のゲストティーチャー（以下GT）に来ていただき、岡田博士にまつわるエピソードなどについてお話をしていただき、岡田博士の生き方について考えさせたい。それをもとに、自分の生き方について考えさせ、リーフレット作りや、グループ、学級での発表の中で表現させていきたい。

3. 活動計画 (21時間扱い)

過程	時間	学 習 活 動 と 内 容
つかむ	1	○ プロジェクト学習について知る。 ・この学習で身につけたい力を知る。
	1	○ 「布佐の町」はどんなところかを話し合う。 ・自分たちの知っていること（5年の学習を振り返る）を出し合う。 ・岡田武松博士について知っていること（5年の学習を振り返る）を出し合う。 ・「これからの布佐の町づくり」について話し合う。

ふれる (布佐カリキュラム)	1	◎布佐カリキュラム「岡田武松博士のはかせになろう」 ○テーマを決める。 ・岡田博士のはかせになるには、どうすれば良いかを考え、課題を決める。 ・課題別グループを作る。 ・ゴールを決める。グループ毎にゴールの持ち方について話し合い、発表する。
	1	○岡田武松博士の生き方や業績について、年表にまとめる。 ・岡田武松博士の生き方や業績から、人柄を想像する。 ・G Tに質問したいことをまとめる。
	3	○G Tのお話しをもとに、岡田武松博士の人柄について理解し、博士の生き方について考える。
追求する	6	○活動計画に従ってグループ毎に活動する。(調査活動) ・フィールドワーク ・インタビュー(歴史を研究している人に話を聞く) ・資料での調査(布佐の風・我孫子市企画課さん・・・) ・インターネット ○活動中での疑問や質問を出し合う。 ・石井先生に質問をし、理解を深める。(グループ毎) ○更に調査活動をする。
まとめる	4	○調べたものをまとめる。 ○中間発表の準備をする。(スピーチメモを活用・・・国語) ・調べたものを分かりやすく効果的に発表するにはどうしたらよいか考える ○グループ毎に中間発表をする。
	1	・お互いのグループの発表を見合ったり、聞き合ったりしながらアドバイスをし合う。
	1	○学習発表会に向けてグループの発表内容を精査する。
広める	2	○中間発表の反省を生かし、学習発表会で成果物を発表する。 ・石井先生、保護者、協力してくれた地域の方々に向けて、発表する。 (例、岡田氏の絵本や絵巻物・模型・P Cプレゼン) ○発表会をすることにより調べた情報を発信しこれを「布佐学習」のまとめとする。 ○次年度の中学の学習とのつながりを知る。

4. 本時の指導（5 / 21 時間）

①目標

地域の方のお話をもとに、岡田武松博士の人柄について理解し、博士の生き方について考える。

②展開

時配	学 習 活 動	・支援 *評価
6	<p>1. 前時を振り返り、テーマを確認する。 「岡田博士のはかせになろう」</p> <p>2. 岡田博士の生き方や人柄について想像したことを確認する。</p> <p>3. 本時の目標を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 岡田武松博士の生き方を知ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の用意 ・前時に使用したワークシート6年を用意させる。 ・内容について、事前にG Tに知らせておく。
21	<p>4. G Tからの話を聞く。 ・話を聞きながら、質問したいことをメモする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質問用紙の用意 *メモをしたり、質問したりすることで理解を深めようとしていたか。
15	<p>5. 岡田博士の生き方や人柄について、質問する。</p> <p>6. 岡田博士の生き方や人柄について、自分の考えをまとめる。(ワークシート6年に書きこむ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート6年の用意 *岡田博士の生き方について、自分なりの考えを持つことができたか。
3	<p>7. 次時の学習の内容を確認する。 ・岡田博士について知ったことや考えたことを、リーフレットにまとめたり発表しあったりする。 ・これからの自分の生き方についても書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット作りや発表会を行うことを知らせる。 ・自分の生き方についても新聞に書くことを知らせておく。

5. 成果と課題

(1) 成果

- ・地域に住んでいる人材を見つけ、活用することができた。
- ・地域の人々と関わろうとする気持ちが芽生え、自ら交流を図ろうとする児童が増えてきた。
- ・岡田武松の業績について深く理解することができたことにより、自分の故郷を誇りに思う児童が増えてきた。
- ・今までに比べ、資料集めの仕方を工夫する児童が増えてきた。
- ・問題意識を持って人の話を聞くことができるようになり、長時間でも集中して話を聞くができるようになった。

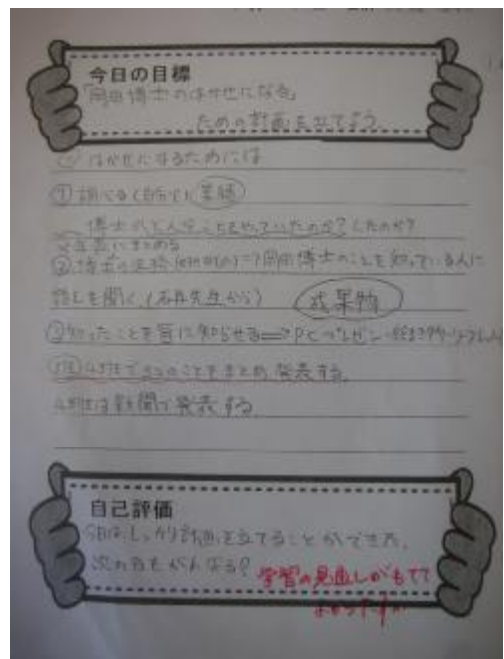
(2) 課題

- ・未来のまちづくりについて考えるための時間の確保が十分にできなかった。
- ・調べ活動をしている時につまずいたり困ったりしている児童への支援の仕方を考えなければならない。
- ・

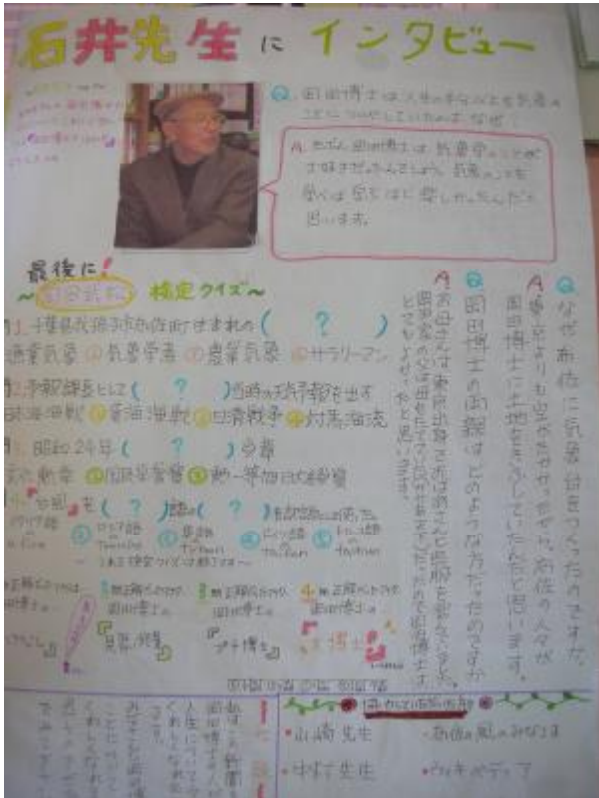
<学習の様子>



☆本時で使用したワークシート



【新聞】



(「岡田博士のはかせになろう」成果物発表会の様子)

